

## 第 23 回理事会議事録

1. 日時 : 2015 年 1 月 23 日 (金) 午後 6 時 30 分～10 時 00 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者:【理事 10 名】 鳩山勝郎、大橋正幸、兼岩芳樹、齋藤陽子、高崎恵  
寺本直志、中谷忠義、橋本公二、山田和彦、吉田正  
【欠席 3 名】 細田博之、ロバート・ゲラー、島村京子  
【監事 2 名】 神代高弘、成田秀則  
【事務局 3 名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行  
【オブザーバー 1 名】 宮内宏顧問弁護士  
(理事現在数: 13 名、定足数 7 名、本人出席 10 名)

### 4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 22 回理事会議事録案の承認について  
議事録案を一部修正の上承認した。

第 2 号議案 平成 27(2015)年度予算案について  
山田企画委員長より 1 月 9 日の企画委員会において検討を行った平成 27 年度  
予算案について説明があった。  
競技会事業については NEC ブリッジフェスティバルを隔年開催とする、ナシ  
ョナルディレクター費を 1 日 35,000 円から 30,000 円に減額する。  
普及事業についてはセンターへの助成は今年度並みの額を維持して、普及広  
報の費用を抑えて、収支均衡を図る。  
中谷競技会担当理事より、参加者減に合わせた主催競技会の参加料収入及び 3  
センターの閉鎖に伴う公認料収入減を反映させているが、1 月の朝日新聞社杯  
が前年度比で 19 チーム減となり、100 万円以上の収入減となったため、最終  
の予算案でさらに修正の可能性がある。また前年度優勝者の招待を来年度か  
ら 1 日分のみとすると説明があった。  
今後 2 月、3 月の企画委員会で検討を重ね、次回理事会に最終案を提出するこ  
とになった。

第 3 号議案 各委員会及び事業部報告について  
1. 企画委員会

山田企画委員長より 1 月 9 日開催の企画委員会について説明があった。  
予算案以外では、ディレクターの養成・教育についての検討を行うワーキ

ンググループを編成したこと、現在のマスターポイントによる表彰制度は年間獲得レッドポイントと 20 点未満の年間獲得マスターポイントのみであるが、マスター位による年間獲得マスターポイントの表彰について表彰規定の改正案を事務局が作成して、次回理事会に提出することに決定した。

## 2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より 11 月 21 日開催のセンター協議委員会について説明があった。

人数不足で複数の試合を合体してストラティファイドペアとする時の条件について、現状では連盟が厳格に制限を行っているが、よりフレキシブルに設定したいと提案があり、今後センター側からの要望を受けて競技委員会で検討することになった。

## 3. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より以下のメンバーの日本代表への指名について説明があり、検討の結果これを承認した。

オープン：陳大偉、寺本直志、田中陵華、加来浩、古田一雄、横井大樹、NPC 前田尚志

ウィメン：宮国亜矢子、坂本みどり、島村京子、西田奈津子、佐藤牧子、大手瑠利、NPC 宮国健次

シニア：山田彰彦、大野京子、中村嘉幸、井野正行、今倉正史、山田和彦  
シニアチームのキャプテンは次回理事会に提出する。

## 4. 競技委員会

寺本競技委員長より 1 月 7 日開催の競技委員会について説明があった。

大阪ブリッジセンターのリジョナルを、秋季リジョナルから大阪大学橋本杯に振り替える申請があり、これを承認した。

## 5. 普及事業部

清水普及事業部長より以下の報告があった。

12 月 2 日にインストラクターズセミナーを開催し、四谷 BC、横浜 BC、大船 BC と連盟事務局から計 6 名が参加した。来年度も開催の予定。

初心者大会を主催するセンターに支援を行う。今年度は以下の 4 センターでの開催に賞品、参加賞を提供し、地方から抽選で 1 ペアを招待する。来年度も希望する 4 センターでの実施を予定している。

12 月 7 日 高田馬場ビギナーズ特別大会△50 20 ペア

12 月 26 日 大船ルーキー年末特別大会△100/△50/△20 26 ペア

1 月 24 日 渋谷ビギナーズ特別大会△50 14 ペア

3 月 21 日 四谷△100/△50 特別大会

四谷、渋谷に続いて、12 月より東中野ブリッジセンターで ABC サロンが第 4 火曜日、XYZ サロンが第 3 木曜日に開設された。アシスタント料 2

名分を助成する。

ジュニアくらぶイベントの開催状況の報告があった。

SKYMARK 機内誌 12月号に広告を掲載した。

来年度はパズル誌掲載を年1回とし、SKYMARK 機内誌はスペースを小さくして掲載を継続する。

#### 4. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況及びゴールドライフマスター1名、シルバーライフマスター7名、シニアライフマスター21名、ライフマスター15名の資格取得者の報告があった。

朝日新聞社杯の参加チーム数が前年度 165 チームから 146 チームに減少したため、来年度の予算案では 155 チーム程度の参加料収入を計上したと報告があった。

#### 5. 国際交流事業部

第 20 回 NEC 杯の参加チームについて報告があった。

A 招待（航空券+宿泊費）4 チーム、B 招待（宿泊費）4 チームに加えてスウェーデンチームから B 招待の要請があると説明があり、検討の結果、スウェーデンチームに登録されている世界選手権優勝者の Upmark 氏が来日して出場するなら B 招待とすることに決定した。

中谷理事より第 1 回 NEC 杯から主任ディレクターを勤めているリチャード・グレンサイド氏が今回限りで引退するとの連絡があったため、記念品を贈呈したいと提案があり、これを承認した。

また、今年が APBF 役員の改選の年になるが、連盟が引き続き APBF 事務局を引き受けるならば、中谷理事が Honorary Secretary を継続するために交渉するとの説明があり、検討の結果、これまで通り APBF 事務局と Honorary Secretary を連盟が担当するよう交渉を進めることに決定した。4 月 1 日～7 日にバンコクで開催される APBF ユース選手権のメンバーについて以下の指名の提出があり、検討の結果これを承認した。

ジュニア（U26）NPC：三浦裕明

菊地忠裕（22, 東北大学）、本田貴大（21, 東京大学）、  
伊藤幸祐（24, 千葉大学）、原田裕己（21, 慶應義塾大学）  
中西智昭（21, 学習院大学）、片山尚徳（22, 早稲田大学）  
（補欠：田辺仁士、弓削裕要）

ヤングスター（U21）NPC：三浦裕明

小林皐輝（19, 一橋大学）、今給黎英嗣（19, 東京大学）、  
片桐直人（19, 東北大学）、三友脩太郎（19, 東北大学）  
中雄俊和（19, 東京大学）、江口秀太（19, 東京工業大学）  
（補欠：山田良一）

本年4月に上海で開催される Yeh Bros 杯に日本オープンチームが招待され、メンバーへの助成について検討を行った。代表助成規則に当該メンバーで参加する理事会が承認した特定の海外競技会の参加費用の助成について記載があることを確認し、予算の範囲内で助成を行うことに決定した。

#### 第4号議案 その他議案

##### 1. 次回の理事会開催について

次回理事会は2015年3月27日（金）午後6時30分に開催する。

当日配布書類：第3号議案「第232回競技委員会議事録」「競技会事業部活動報告」  
「The Roster of the 20<sup>th</sup> NEC Cup」  
「2015年度派遣のAPBFユース代表承認のお願い」  
「平成26年度予算決算対照表」「比較財務諸表」

平成27年1月23日（2015年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第23回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 神代 高弘

監 事 成田 秀則